

9月議会の一般質問の日程が決まりました。

まえくぼ義由紀府議	10月5日(木)	3番目	午後2時頃から
三双順子府議	5日(木)	5番目	午後3時30分頃
三木一弘府議	10月6日(金)	2番目	午後1時30分頃
高橋進府議	6日(金)	4番目	午後3時頃

会議の開会は、午後1時です。質問開始予定時間は、前後する場合があります。

● 他会派の代表質問の概要をご紹介します。

小巻實司(自民党、下京区) 2000年10月3日

財政運営について

【小巻】 今後の財政運営の基本方針は

【知事】 本格的な地方分権社会を迎えるにあたり、地方の果たすべき役割は重要。時代の流れに的確・機敏に対応し、21世紀にふさわしい京都府づくりが府の使命。財政危機の一刻も早い克服が急務。私が先頭に立ち、更なる行財政改革に取り組み、時代に即した行財政基盤の確立が成し遂げられるよう全力をあげる。

【小巻】 府の財政状況について、広報媒体使い府民に徹底を。

【知事】 予算や決算に関する内容をより充実するなど、分かりやすく、木目細やかな情報提供に努め、説明責任を果たす。

【小巻】 財政健全化への内部努力は当然。府民に協力を求め、痛みを分かち合ってもらわねば進まない取り組みもある。財政健全化指針の具体策を早急に立て、府民に示せ。

【知事】 昨年来財政健全化指針に基づき、歳入面では地方交付税の充実など国からの財源確保や、府税の徴収体制の強化などによる組織的な滞納整理の推進、歳出面では職員定数の削減、給与の昇給延伸等の内部努力、施策全般にわたる事務事業の見直しなどを進めるなど具体化を進めた。今後も、気を緩めず広域的な統廃合も含めた地方機関の見直し、府立医科大学付属病院、府立病院の経営改善、外郭団体の見直しなど更に徹底した内部改革の具体化、事務事業評価制度の導入により施策の一層の見直しにもとり組む。府民の理解と協力を得ながら財政健全化指針に掲げた目標達成に鋭意取り組む。

新総合計画について

【小巻】 新しい総合計画試案は、財政危機の中ではあるが、府民が夢を持てるものであり高く評価する。試案には府民の意見はどう反映しているか。

【知事】 1700超の意見、地域別懇談会には1200名が参加。5府総試案でも意見を踏まえ「京都府のめざす将来像」「施策推進の戦略」など計画の基本的枠組みが設定されている。705の具体的事業でも、保健福祉、交通、情報基盤、環境、教育産業などのなかでも反映している。

【小巻】 「施策推進の戦略」に7つの創造プロジェクトがあるが、その認識と具体化のための仕組みは。

【知事】 IT 革命ともいわれる時代潮流を踏まえ、京都府のめざす将来像実現へ向け、いち早く取り組む必要のある課題と方策を示したもの。部局を超えた推進組織の編成や重点的な予算配分などの仕組みを考える。

【小巻】 地域別整備方針の扱いは。

【知事】 4府総の広域プロジェクトは、概ね順調に産業生活基盤等の整備が進められたと認識。試案では、それらの成果の活用を図り、「個性ある地域づくり」「地域の人が参加する地域づくり」「交流と連携による地域づくり」の方針を掲げ、各々の地域毎に総合的な地域整備の基本方向を示している。府として今後、基本方策等に沿い必要な基盤整備に取り組むと共に、地域における様々な取り組みを総合的に推進・支援する。

不況・雇用対策について

【小巻】 中小企業向け融資の利用状況と2信金の再編問題への対応。

【知事】 平成12年度8月までの実績。府制度融資は、1557件110億円、貸し洩り特別保証は、3947軒743億円で、7000億円の保証枠のうち6000億円を保証、全国第3位での85%となり、経営安定に大いに寄与している。今後も、個々の中小企業の経営状況を踏まえながら、信用保証協会等とも連携しながら適切に対応したい。

信金再編問題では、取引先中小企業への融資継続や職員の雇用確保について、関係信用金庫について、繰り返し強く要請すると共に、監督官庁である国や、預金保険機構等に対する確かな指導と支援を働きかけてきた。その結果、全国で始めて国の主催による連絡会議が二度開催され、そこでの合意を得て、中小企業からの切実な相談に地域を上げて対応するための相談窓口を、国、京都府、京都市を始めとする市町村、商工会、商工会議所等に設置を果たした。また、先般、国や整理回収機構からも講師を招き、相談窓口の担当者を対象に研修会を開催したところ。さらに相談窓口を一層強化するために、従来の経営指導員に加え、民間の金融業務経験者に特別相談指導員を依頼すると共に、弁護士や公認会計士による専門的な相談体制も整備することとし、この議会に所要の予算をお願いしている。今後とも引き続き中小企業金融の円滑化に努力する。

【小巻】 和装産業振興の業界の取り組みへの支援は。

【知事】 長期手形の削減など取り引き改革に真剣に取り組むとの業界の取り組みには、京都市と連携し新たに始めた取引改善等特別融資制度の活用で支援している。また、西陣織京友禅等産地活性化基金等を活用し、「着物解放区」「新商品開発」などに積極的に支援、「京都伝統産業展」「西陣夢まつり」「京の名工展」「丹後着物まつり」を開催する。

介護保険について

【小巻】 介護報酬の支払状況。介護サービスの利用状況は。

【知事】 介護給付費の支払状況は、4月分は51億円、7月が68億円で徐々に増加。当初予定の12年度中の平均月支払額は73億円と見込んでいるが、介護認定を受けた方が増加傾向なので、概ね見込み通りになると考える。介護サービスの利用状況だが、訪問介護、通所介護などが概ね12年度のサービス見込み量に近い。いくつかの市町村によるアンケート調査では、介護サービスのあり様については「概ね満足」が多数で、厚生省が全国老人クラブ連合会を通じて行った結果と同様。こうした状況から、概ね利用者の希望に添った介護サービスが提供されているものと考えている。

【小巻】 10月からの保険料徴収に際し、啓発の取り組みの方向は。

【知事】 保険料徴収については、市町村に対し広報や相談を積極的に行い、被保険者の理解を十分得るように重ねて要求した。府としても各種広報媒体で周知を図ると共に、リーフを作成し市町村に活用してもらっている。

【小巻】 介護支援専門員の資質向上への支援策は。

【知事】 府医師会や府社会福祉協議会が協力し京都府介護支援専門員協議会の結成が準備されているが、府として協議会の取り組みを積極的に支援し、資質の向上を図る。

【小巻】 介護保険の審査請求の状況と見通しは。

【知事】 13件提出され、9件が保険料に関するもの。市町村等において、保険の主旨などを十分説明するよう改めて要請する。新しい制度であり、市町村と十分連携し円滑な運営に努め、府民にとってより良い制度となるよう適切な対応を行う。

青少年問題について

【小巻】 青少年による殺傷事件への認識と対策は。

【知事】 極めて憂慮する事態で、問題の解決は現下の国民的課題。府として刃物類を取り扱う店舗やコンビニなどの立ち入り調査などに取り組み、「青少年健全育成条例」の周知や問題行動の防止に向けた指導啓発を実施した。今後も取り組む。

【小巻】 問題行動を起こした少年と家族のケアの現状と、問題行動の防止のための取り組み、特に学校と警察の連携が重要だが、その取り組み状況は。

【知事】 青少年行政を機動的に進めるため、教育委員会や警察本部が定期的に情報交換や協議を行う会議を開催する他、少年相談担当者研修会を共同で開催すると共に、青少年や家族の心のケアを行うために、児童相談所や総合教育センターや少年サポートセンターなどがチームを組んで問題解決にあたるなど実行ある取り組みとなるようつとめる。

【小巻】 今年度目標年次を迎える「青少年プラン」。新プランの策定の視点は。

【知事】 青少年問題協議会に専門委員会を設け調査審議をしているが、青少年自身に自覚を促すと共に、青少年の健全な育成に責任を持つ大人の意識改革や府民総参画による取り組みにより直面する課題に対応すると共に、青少年の自立や社会参加等を促進する視点から策定をしたい。

【小巻】 今年度から実施の「こころ生き生き体験活動」推進事業の取り組みのねらいと、取り組みの状況は。

【教育長】 1学期中に地元企業代表者、社会教育関係者などの参加を得て、すべての中学校区で、事業推進のための「こころの教育連絡会議」が結成され、計画が立てられ、7割近い学校で1回目の体験活動を円滑に実施。参加した生徒は、実体験を通じ多くのことを学んだ。事業主などからは、積極的に受け止めてもらった。この事業は、従来の取り組みを府内の全中学校に広め、内容面も発展させたもので、今後も市町村教育委員会と連携し、地域ぐるみで子育てをしていこうとする気運の醸成を図る。

第二外環、京都市内高速道路について

【小巻】 第二外環道路の進捗状況と見通しは。

【知事】 平成14年度完成目標へ向け、ほとんどの工区で工事が実施されている。大山崎インターから沓掛インター間では、一部用地が先行取得されると共に予備設計が実施されている。京都市西京区では路線測量、土質調査が完了し、現在広報を検討するため、地下水脈の調査が実施されている。関係市町と連携し、地元関係者の理解を得て整備促進が図られるよう取り組む。

【小巻】 京都市内高速道路の事業費増額はやむを得ない。京都発展に不可欠な道路と考えるが、知事の所見は。

【知事】 京都市内の慢性的交通渋滞を解消すると共に、第二京阪道路や京都第二外環状道路と一体になり、京都市域と周辺市町との連携を強化に大変寄与。それによって社会経済活動の活性化を促し、21世紀の京都の発展に欠かせない都市基盤施設。新十条通りの基本計画設計変更に伴う事業費増額については、このような大幅な増額変更となることについては、阪神高速道路公団に対し、その変更理由の説明を今後十分事

前に行うよう、また、コスト削減など事業費抑制に努めるようなことを申し入れたが、周辺地域の地盤沈下を防止し安全性をより確保するために工法を変更するものであり、京都府としても、やむを得ないと考える。今後も、府市協調を基本に、整備促進に努める。

宮津土木の贈賄について

【小巻】 (要望) 宮津土木職員不祥事。再発防止に全力を。

【知事】 宮津土木事務所職員の収賄事件については、私としては、清潔で親切、公平・公正を基本方針として府政を推進してまいりましただけに、誠に痛感の極み。早急に事実関係の把握と原因の究明を行うと共に、全庁を上げて改めて総点検を行胃、再発防止と府民の皆様の信頼回復に向けて全力で取り組む。